

小児2次医療連絡協議会の今後の進め方について

(今後の進め方に関するこれまでの主な意見)

★第1回小児2次医療連絡協議会（H20.9.26開催）★

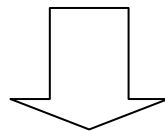
- こども病院の移転に伴う小児医療体制は、西部地区だけにとどまらず、県、都市圏などの広域的な範囲で、周産期・小児医療体制を調整するという考え方で取り組むべき。
- 県の医療対策協議会にメンバーに入ってもらって、小児医療の県レベルでのあり方、需要の整理をしていくのが良い。
- 今後の進め方については、当面、協議会において検討を進め、必要に応じて部会を設けて検討を行う。協議に必要なデータ等について、実務レベルで検討する。

★福岡市病院事業運営審議会（H20.10.2開催）★

新たな小児医療のネットワークを作る場合、小児の2次医療だけでなく、1次2次3次の中で考えなければならない。小児2次だけのネットワークでは不十分。

★福岡地区小児科医会 新こども病院構想委員会（H21.5.20開催）★

- 開業医のニーズを伝える場がない。協議会に我々の代表を入れて欲しい。
- 3つの病院の関係者だけが集まって解決する問題ではない。
- 大学病院、国立病院などを含めた市内の中核病院をネットワーク化し、柔軟に対応すべき。

**〈提案〉**

こども病院・感染症センター移転後の本市西部地区の小児2次医療については、現在の協議会を存続し引き続き協議することとし、それに加え、小児医療のネットワークについて検討を行うための協議の場を別途設置する。

1 「福岡市立新病院に関する小児2次医療連絡協議会」について

⇒ メンバーを一部変更し、引き続き協議を行う。

<目的（変更なし）>

この協議会は、現こども病院移転後の本市西部地区における小児2次医療提供体制の確保を図るため、関係医療機関の連携・協力のあり方等を検討することを目的とする。

<所掌事務（変更なし）>

- (1) 現こども病院移転による影響の予測
- (2) 上記予測に基づき必要と考えられる対策の検討
- (3) 対策実施にあたっての各病院の役割分担と連携のあり方の検討

<組織（一部変更）>

独立行政法人国立病院機構九州医療センター：院長
国家公務員共済組合連合会浜の町病院：院長
福岡市立こども病院・感染症センター：院長
その他座長が指名したもの

<当面のスケジュール（予定）>

8月頃 第3回開催（小児医療連絡会議における検討状況の報告等）
年度内 第4回開催（小児医療ネットワーク構築に関する報告等）

2 「福岡市小児医療連絡会議（仮称）」について

⇒ 新設

<目的>

この会議は、現在及び現こども病院移転後も踏まえた、本市及び近郊地区における小児医療体制の充実を図るため、各病院間のネットワークの構築等について検討することを目的とする。

<所掌事務>

- (1) 本市及び近郊地区における小児医療体制の現状把握
- (2) 小児医療体制充実のための各病院の役割分担と連携のあり方の検討
・各病院間のネットワークの構築等

<組織>

- (1) 福岡市民が一般的に利用していて、小児科を標榜し、かつ、常勤の小児科医がいる中核的な病院：小児科代表（小児科部長クラス）
- (2) 福岡地区小児科医会代表：1～2名
- (3) こども病院（2名）：院長、地域医療連携室長
- (4) 福岡市：保健福祉局理事

<当面のスケジュール（予定）>

7月以降適宜会議を開催し、早期に小児医療ネットワークの構築を図る。